

1. 科目名 (単位数)	経営管理論 (2 単位)		3. 科目番号	SBMP3112						
2. 授業担当教員	吉沢 正広									
4. 授業形態	講義、集団討議、学生との応答など		5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係	経営戦略論や企業統治論などの科目を履修することが望ましい。									
7. 講義概要	<p>本講義では組織の管理についての解説を行い、経営管理の理論的な部分に関して初歩的な理解を促すことが目的である。そのために、まずは、代表的な経営学説を学ぶことから始める。</p> <p>講義の流れとしては、経営管理の全体を把握するため、経営学の誕生、近代組織における経営管理の登場とその発展について学習する。変革する経営管理について、組織の活性化、モチベーション及び経営のリーダーシップについて学習を進める。</p> <p>また、経営の創始者としてのテイラーや管理原則を展開したファヨールの議論などを紹介する。最終的には人事労務管理論や財務管理論へと議論を展開して、経営管理の全体像を把握できるようにする。</p>									
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 企業はもちろん病院・学校・公共団体などをはじめ家庭・個人にいたるまで経営管理能力が必要とされている。組織の経営管理活動の過去・現在・未来を理解できるようになる。</li> <li>2. 社会で要求される管理能力の基礎を身に付けると共に、行動案を立案できるようになる。</li> <li>3. 自分自身のマネジメント、即ちセルフマネジメントを理解し、実践力をつけることを目的とする。</li> </ol>									
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	レポートは期末レポートを1回予定している、内容はテキストに沿って出題する。									
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 吉沢正広編著『実学 企業とマネジメント』学文社、2018。</p>									
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 企業の経営を実践と理論の両面から平易な資料を用意して授業を進めたため、組織経営の基本的仕組みは理解できたか。</li> <li>2. 組織の管理能力の基礎的な考え方を身に付けることで、グローバルな視点で経営管理を考えるような力が付いたか。</li> <li>3. 企業の経営管理の理解だけでなく、病院や公共施設などの経営管理の違いを理解できるようになったか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、課題レポート、期末試験等を総合して評価する。]</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極的参加</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>2 課題レポート</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>3 期末試験</td> <td>総合点の40%</td> </tr> </table>				1 授業への積極的参加	総合点の30%	2 課題レポート	総合点の30%	3 期末試験	総合点の40%
1 授業への積極的参加	総合点の30%									
2 課題レポート	総合点の30%									
3 期末試験	総合点の40%									
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. (ZOOM 授業の場合) 授業中はビデオおよびカメラを ON にすること。 特段の理由なくビデオを ON にせず、かつ教員の呼びかけにマイク等で反応しない学生は欠席扱いとする。 (対面授業の場合) 授業中にスマホ操作、私語、居眠りの多い者は教壇最前列に座らせる等、担当教員の厳重な指導下におく。</li> <li>2. あらゆる人は何らかの組織に所属します。組織の活動は経営管理の知識が必要です。また、経営管理の学習は、未来の自分の人生の目標を定めその生き方を方向付ける試みができ、セルフマネジメント手法を学ぶことにもつながります。 担当教員は新事業のリーダーとして、長年企業で多くの新製品の開発とその事業化のための経営管理を進めました。その研究と実務経験を生かして、医療・福祉・介護などの組織の経営管理へ活用するための研究・学習を皆さんと共に討議を重ねながら追求して行きます。</li> </ol>									
13. オフィスアワー	第1回の講義の際に指示をする。									
14. 授業展開及び授業内容										
講義日程	授業内容	学習課題								
第1回	オリエンテーション(講義概要の説明) 経営管理の概念、成績評価方法など説明	事前学習	テキストの著者の考え方、を知る上で、「はしがき」(pp. i ~ ix) の内容を読みまとめる。							
		事後学習	経営管理の概要を聴いたうえで、経営体の経営管理について自分の考えをまとめて提出。							
第2回	企業システムとマネジメントについての概略	事前学習	テキスト第1章を読んでまとめる。また、関心のある企業について調べる。							
		事後学習	テキストにある日本の会社と、各自が関心のある会社を比較し、その違いなどをまとめる。							
第3回	管理の生成と発展、専門経営管理と組織能力 近代的組織の登場、所有と支配の分離	事前学習	テキスト第1章をまとめる。							
		事後学習	専門経営者の台頭、経営管理論の始祖ファヨールを中心に管理の必要性をまとめる。							
第4回	事例研究の展開を概観するー経営学の今後の課題についてー	事前学習	テキスト第2章前半を熟読、企業の拡大や国際化のプロセスを理解する。							
		事後学習	経営管路の発展、経営管理論の系統図を理解しまとめ、現代企業との比較をする。							

第5回	マーケティングとは何かを理解する	事前学習	テキスト第3章を熟読し、まとめ、マーケティング理論の概要を理解する。
		事後学習	科学的管理法、サイモンの意思決定論を中心に内容をまとめる。
第6回	グローバルマーケティングを理解する	事前学習	企業活動の国際化についての概要を理解する。
		事後学習	グローバルに活躍する企業を理解する。
第7回	経営革新とは何かを理解する	事前学習	テキスト第6章を熟読し、その内容をまとめる。
		事後学習	事例をまとめる。
第8回	経営戦略の概要を知る	事前学習	テキスト第6章を熟読しまとめる。
		事後学習	経営戦略の概要について知り、今後どのように勉強するかヒントを得る。
第9回	イノベーションとは何かを理解する	事前学習	テキスト第7章を熟読するとともに、今後の学習のヒントにする。
		事後学習	日本型組織の新しい展開という視点でまとめ、理解を深める。
第10回	日本企業の海外進出を理解するー組織面での理解を深めるー	事前学習	テキスト第10章を熟読しまとめる。
		事後学習	日本企業がいかに国際化し組織を作り上げたかを理解する。
第11回	ヒトに関する管理論の変遷を理解する	事前学習	テキスト第11章を熟読しまとめる。
		事後学習	企業で働くとはどう行くことか、その概要を知る。
第12回	日本的経営の変容を知る	事前学習	テキスト第1章を読み、企業の中での働き方の変容を知る。
		事後学習	経営資源管理から日本型社内ネットワークへの発展と組織風土の関係を中心にまとめる。
第13回	企業のコーポレート・ガバナンスとは何かを理解する	事前学習	テキスト第13章を読み、これまでの企業のコーポレート・ガバナンスを理解する。
		事後学習	なぜ企業間連携をするのか、戦略的提携ロジックを中心にまとめ、理解を深める。
第14回	企業の資金調達について理解する	事前学習	テキスト第14章を読み、企業活動における資金調達を理解する。
		事後学習	企業における資金調達がなぜ重要かを理解する。
第15回	情報のマネジメントについての理解を得るおよび総まとめ	事前学習	現代の企業が重要視している情報について理解する。
		事後学習	企業に情報が必要である、これが実現できないと企業活動は危くなる、それはどう一ことか理解する。